

# 北陸

第89期年度報告書

平成24年4月1日～平成25年3月31日



北陸電力株式会社

# 第89期年度報告書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

## 目次

3	株主の皆さまへ
4	志賀原子力発電所の安全強化策 「更なる対策」の進捗状況について
6	志賀原子力発電所 敷地内シーム 追加調査報告の概要について
8	事業の概況
10	財務諸表
14	財務・株式データ
16	ハレの日を彩なす～北陸の祭り～ 石崎奉燈祭
18	株主information

## 表紙

### ハレの日を彩なす～北陸の祭り～

漁師町である石川県七尾市石崎町では、毎年大漁を神に祈る「石崎奉燈祭」が開催されます。高さ約15メートル、重さ約2トンもの奉燈(キリコ)を約100人の男たちが担いで町を練り歩くのが特徴で、その迫力は圧倒的。海の男たちの気概を魅せる夏の祭りは、これからも町の大切な絆として伝わっていくのです。

### 石崎奉燈祭



画：寺口 康信

# 株主の皆さんへ

株主の皆さんには、平素より格別のご高配を賜わり厚くお礼申しあげます。

現在、我が国の原子力発電所は2基を除き停止を余儀なくされ、全国的に厳しい需給状況が続いており、また、これに伴う燃料費の大幅な増加により収支状況が悪化し、多くの電力会社が電気料金の値上げをせざるを得ない状況となっております。当社はこのような厳しい状況に対処するため、供給力確保に努めるとともに、志賀原子力発電所の安全強化策の推進やグループを挙げての一層の経営効率化に全力で取り組んでまいりました。

しかしながら、原子力の再稼働時期は依然として不透明であり、また、原子力を含めたエネルギー政策について今後議論されることになっております。加えて、電力システム改革においては、2年後には広域系統運用機関の設立、3年後には小売全面自由化が予定されております。

このように激変する経営環境の中、当社グループは、以下の項目に全力で取り組んでまいります。

まず、供給安定性、経済性に優れ、発電時にCO<sub>2</sub>を排出しないことから、ベース電源として今後も引き続き重要な役割を担う原子力の安全強化に徹底して取り組み、一日も早い再稼働を目指してまいります。また、電力需給安定化に向けた需給両面の取組みや設備保守管理の確実な実施により、電力の安定供給を守り抜きます。

また、安全最優先を前提とした更なる経営効率化に挑戦し、低廉な料金で電気をお客さまにお届けし続けるとともに、省エネ・快適性の提案等を通じてお客様との関係を強化することにより、小売全面自由化に向けて競争力を高めてまいります。また、卸電力取引所の活用により総販売電力量を拡大するとともに、社会のニーズに応えることによりグループ事業の収益拡大を図ってまいります。

加えて、これらの諸課題に取り組むため、個人・組織が能力を最大限発揮できる仕組みを再構築してまいります。また、業務品質向上や人材育成・活力ある職場づくりなどにも引き続き注力してまいります。

さらに、グループ従業員一人ひとりが、日常業務を通じ、お客様や地域の皆さまとの相互理解活動や地域との協働による活性化に取り組むことにより、地域社会から信頼いただけるよう努めてまいります。

当社グループは、引き続き、低廉で良質なエネルギーを安定的にお届けするという社会的使命を果たし、皆さまから「信頼され選択される企業」を目指してまいります。

期末配当につきましては、非常に厳しい収支状況ではあるものの、安定配当継続の方針に基づき、1株につき25円とさせていただきました。

株主の皆さんにおかれましては、当社グループに対し、なお一層のご理解とご支援を賜わりますようお願い申しあげます。

平成25年6月



取締役会長 永原 功 取締役社長 久和 達

# 志賀原子力発電所の安全強化策「更なる対策」の進捗状況に

当社は、東北地方太平洋沖地震による福島第一原子力発電所の事故を受け、緊急時の「電源確保」及び「冷却機能の確保」、「発電所敷地内への浸水防止」等の観点から安全強化策を取りまとめました。そのうち「緊急安全対策」を平成23年4月までに完了し、現在、一層の信頼性向上を図るために「更なる対策」を着実に実施しています。

このたび、非常用電源(大容量)の配備、防災資機材専用倉庫の設置などの対策が完了しましたので、その概要についてお知らせします。

## 安全強化策の進捗状況

(平成25年3月末現在)

安全強化策		進捗状況
緊急安全対策（非常用電源の確保、消防車による注水等）		完了
更なる対策（下記項目）		
電源確保	非常用電源(大容量)の配備	完了
	外部電源早期復旧による所内電源の確保	完了
	外部電源の信頼性確保	H25年8月完了予定
冷却機能確保	浸水した原子炉補機冷却系ポンプの機能回復手段の整備	完了
	水源の多様化	H25年度内完了予定
	原子炉補機冷却海水ポンプ代替品の配置	完了
	消防車追加配備	完了
	ディーゼル駆動消火ポンプ燃料タンク大容量化	完了
	配管等の耐震裕度向上	完了
	格納容器ペント専用電源の設置	完了
その他強化策	防災施設・資機材等の強化	
	●緊急時対策棟の設置	H25年9月完了予定
	●防災資機材専用倉庫の設置	完了
	●モニタリング設備の強化	完了
	●個人線量計の追加配備	完了
	●構内主要アクセス道路の補強	完了
	●復旧作業用クレーン車の常設	完了
	●緊急時協力会社集合棟の設置	準備中
浸水地内への 防止策	防潮堤の構築	完了
	取水槽及び放水槽廻りへの防潮壁の設置	完了
	浸水対策の強化（扉の水密化等）	完了

「安全強化策」を実施することにより、過酷事故(炉心の重大な損傷等)は起こらないと考えておりますが、万が一、発生した場合でも迅速に対応するための対策にも取り組んでいます。

### 非常用電源(大容量)の配備

完了



監視・注水冷却の他、海水により循環冷却する設備等の電源を確保するため、非常用電源(大容量)を標高21mに配備しました。(4,000kVA×2台)

### 防災資機材専用倉庫の設置

完了



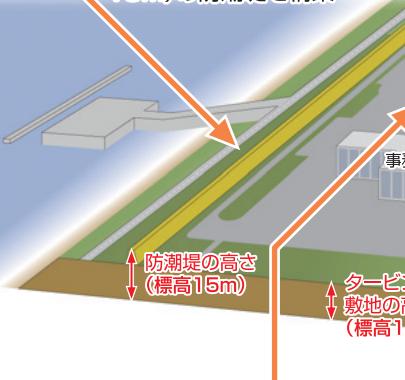
予備電動機、海水ポンプ代替品、モニタリングカーなどの防災資機材を保管する防災資機材専用倉庫を標高35mに設置しました。

# について

## 主な対策の実施状況

### 防潮堤の構築 完了

発電所海岸沿いに約700mにわたって、高さ4m(標高15m)の防潮堤を構築

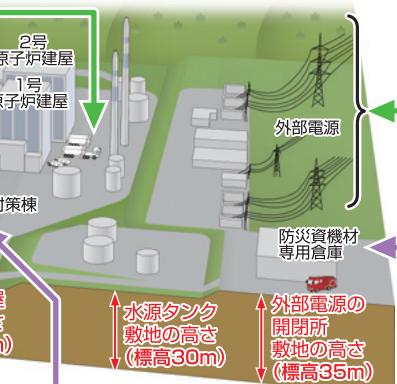


### 取水槽及び放水槽廻りへの防潮壁の設置 完了

取水槽及び放水槽廻りに、高さ4m(標高15m)の防潮壁(4箇所)を設置

### 外部電源の信頼性確保 (平成25年8月完了予定)

全ての送電線(志賀中能登線・志賀原子力線・赤住線)の各号機への接続



### 緊急時対策棟の設置 (平成25年9月完了予定)



### モニタリング設備の強化 完了



モニタリングカーを1台から3台に追加配備

### 構内主要アクセス道路の補強 完了

地震・津波が発生した際に消防車等が構内を確実に走行できるように構内の主要なアクセス道路及び大坪川ダムまでの町道を補強しました。

### 浸水対策の強化 (扉の水密化等) 完了

海水熱交換器建屋及びタービン建屋、原子炉建屋への浸水を防止するため、水の漏れにくい扉に交換するなどの対策を実施しました。

安全強化策を確実に実施できるよう、継続的に訓練を実施しています。

#### 【訓練実績】

平成24年度訓練実績

延べ487回



非常用電源(大容量)による給電訓練



大容量水源の大坪川ダムからの取水訓練



耐震性貯水槽から原子炉等への送水訓練

# 志賀原子力発電所 敷地内シーム<sup>\*1</sup>追加調査報告の概要について

当社は平成24年7月18日、原子力安全・保安院からの「敷地内破碎帯の追加調査計画の策定について(指示)」に基づき、7月25日に追加調査計画を報告、8月10日より調査を実施してまいりました。

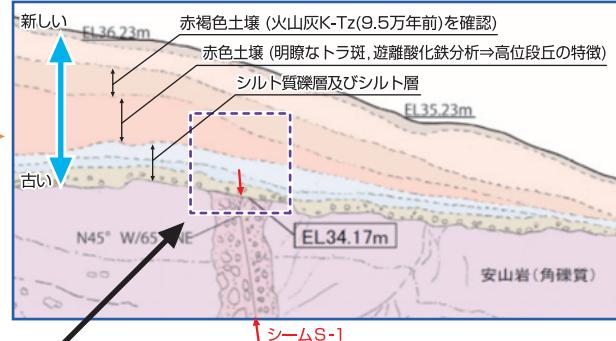
このたび、中間報告(12月7日)以降の調査で得られたデータも含め、これまでの調査結果に基づき報告書を取りまとめ、平成25年6月6日、原子力規制委員会に報告いたしました。

## 結論の骨子

- ・シームS-1は、活動性が問題となるものではなく、耐震設計上考慮すべき活断層ではありません。【調査結果 1,2,3より】
- ・敷地内シームについては、活動性が問題となるものではなく、耐震設計上考慮すべき活断層ではないと判断されます。【調査結果 4より】
- ・建設前に行ったトレーンチ調査でのシームS-1の岩盤上面の段差は侵食作用によるものと考えられます。【調査結果 2,5より】

## 1. シームS-1の活動性 (調査位置図 ①, ②)

### ① 敷地内 表土はぎ調査



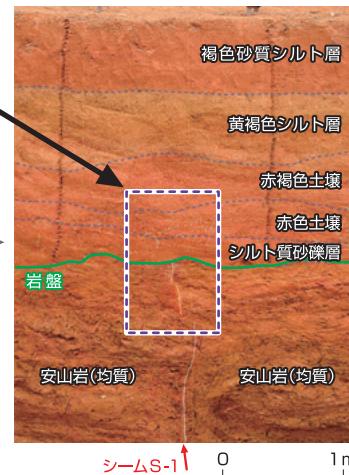
・複数箇所の調査(敷地内表土はぎ調査、敷地外トレーンチ調査)の結果、シームS-1を含む岩盤の上面及びその上を覆う高位段丘I面の堆積物に変位・変形は認められないことから、少なくとも12~13万年前以降の活動はありません。

【解説】「高位段丘I面」は、標高約40mに分布しており、構成する段丘堆積物は約20万年前に形成されたと考えられます。

### ② 敷地外 トレーンチ調査

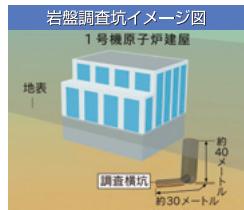


(注)右写真的地表から縦に伸びる黒いスジは、分析のため試料採取した跡です。



※1：シームとは、岩盤中の割れ目にある薄い粘土などの軟弱物質の薄い層。

## 2.シームS-1の性状 (調査位置図③)



- 穴水累層 安山岩(均質)
- 帯状を呈する火山碎屑岩I
- 帯状を呈する火山碎屑岩II
- 凝灰質な細粒部

\*シームS-1'は、水平ボーリング調査や横坑内の観察の結果、シームS-1からの分歧であると考えられます。

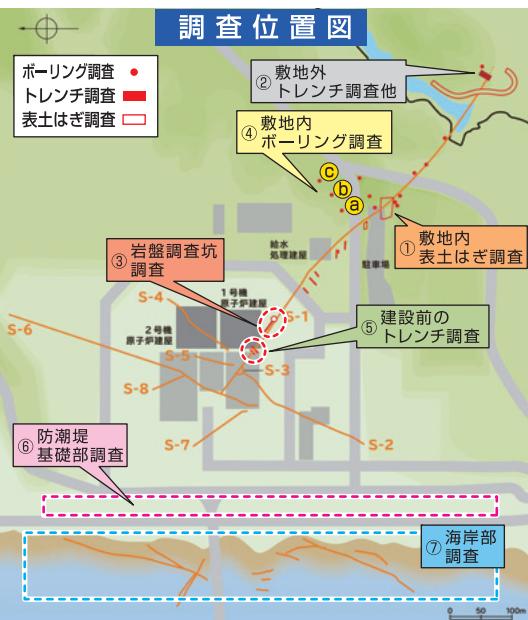
【解説】「帯状を呈する火山碎屑岩」は、安山岩（一千数百万年前に形成）とほぼ同じ頃にできたものです。



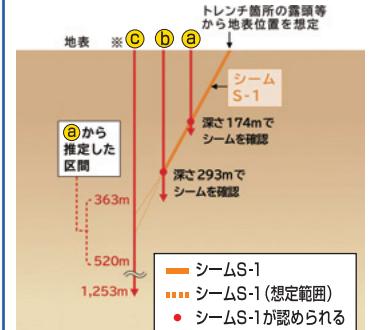
### シームとその周辺の礫の観察写真



・岩盤調査坑において、安山岩礫がシームS-1を分断するように分布していることなどから、シームS-1は、安山岩礫を破断させるなどの動きがあったとは考えられません。



## 3.シームS-1の連続性 (調査位置図④)



※⑦は平成18年9月に改訂された指針に伴い実施した調査(大深度ボーリング調査)

・ボーリング調査の結果、深部方向について長く連続しません。

## 4.海岸部シームの性状 (調査位置図⑦)

- ・海岸部と敷地内のシームは、同様の走向・性状・鉱物組成など共通性を有しています。
- ・海岸部のシームは、堅硬な岩石中に断続的に分布していることなどから、活動性が問題となるものではありません。

## 5.既往調査に関する考察 (調査位置図⑤,⑥,⑦)

- ・建設前に行ったトレーニング調査でのスケッチ形状(岩盤上面の段差形状とその上を覆う堆積層の傾斜)と同様の形状は、侵食影響が大きい海岸部やシームを伴わない防潮堤基礎部でも多く見られました。

# 事業の概況

(単位：億kWh, 億円)

	平成24年度 (A)	平成23年度 (B)	増 減 (A) - (B)	対 比 (A) / (B)
販 売 電 力 量	280.8	289.0	△8.2	97.2%
売 上 高 ( 営 業 収 益 )	4,924	4,951	△26	99.5%
営 業 利 益	117	116	0	100.8%
経 常 利 益	17	10	6	165.2%
特 别 利 益	—	60	△60	—
当 期 純 利 益	0	△52	53	—

(参考)平成23年度特別利益：損害賠償請求訴訟の和解解決に伴う受取和解金

(注) 億円未満切捨

## 収支の状況

当年度の我が国経済は、当初は復興関連需要などから緩やかに持ち直していましたが、欧州債務危機を背景とした輸出の低迷やエコカー補助金の終了などにより、次第に弱含みとなりました。

しかしながら、年明け以降、金融緩和強化への期待の高まりに伴う円安により輸出が持ち直したことなどから、下げる兆しがみられます。北陸地域においても同様の状況で推移いたしました。

このような経済情勢のもと、当年度の連結収支につきましては、収益面では、電気事業において販売電力量が減少したことなどから、売上高(営業収益)は前年度に比べ26億円減の4,924億円

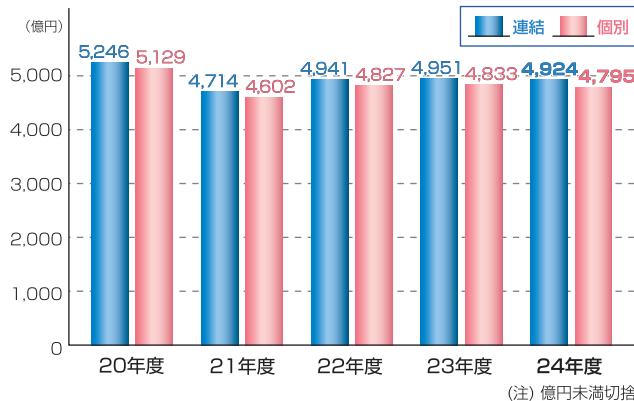
となり、これに営業外収益を加えた経常収益は前年度に比べ30億円減の4,956億円となりました。

一方、費用面では、電気事業において厳しい経営環境に対処すべく、「2012緊急経営対策本部」を設置し、経費全般について徹底した効率化に努めたことなどから、経常費用は前年度に比べ36億円減の4,939億円となりました。

この結果、経常利益は前年度に比べ6億円増の17億円となりました。

また、当期純利益は、前年度における法人税率引下げに伴う法人税等調整額計上の反動減などから、前年度に比べ53億円増の0億円となりました。

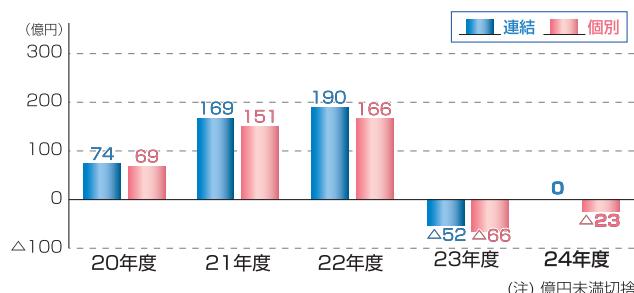
## ■売上高の推移



## ■経常利益の推移



## ■当期純利益の推移



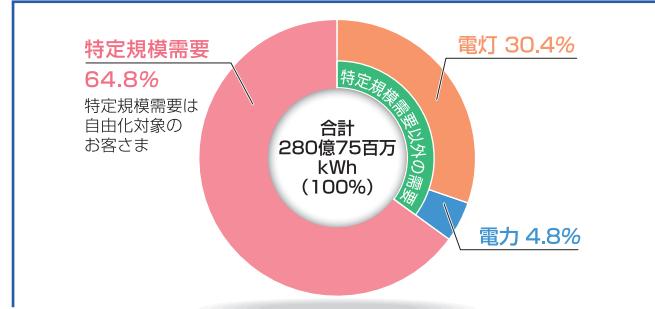
## 販売の状況

当年度の販売電力量につきましては、電灯および業務用は、猛暑や厳冬により冷暖房需要が増加したものの、節電の影響などから、ほぼ前年度なみとなりました。

産業用その他は、大口電力で機械などが低調に推移したことなどから、前年度を下回りました。

この結果、販売電力量は280億75百万キロワット時（うち特定規模需要181億87百万キロワット時）となり、前年度と比較すると2.8%の減少となりました。

## ■当年度販売電力量の構成比



## ■販売電力量の推移



# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表の要旨

(単位: 億円)

資産の部		負債及び純資産の部			
科 目	当 期 末 (平成25年3月31日現在)	前 期 末 (平成24年3月31日現在)	科 目		
固 定 資 産	11,836	11,962	固 定 負 債	8,632	8,361
電気事業固定資産	8,947	9,155	社 債	4,386	4,286
水力発電設備	1,138	1,165	長 期 借 入 金	2,888	2,719
汽力発電設備	1,114	1,155	流 動 負 債	1,917	1,996
原子力発電設備	2,166	2,264	1年内に期限到来の固定負債	874	895
送 電 設 備	1,725	1,765	短 期 借 入 金	158	154
変 電 設 備	893	896	引 当 金	98	106
配 電 設 備	1,517	1,525	負 債 合 計	10,649	10,464
固定資産仮勘定	347	311			
核 燃 料	969	951	株 主 資 本	3,250	3,353
投資その他の資産	1,280	1,249	資 本 金	1,176	1,176
流 動 資 産	2,123	1,896	資 本 剰 余 金	339	339
現金及び預金	1,163	927	利 益 剰 余 金	1,766	1,870
受取手形及び売掛金	379	365	自 己 株 式	△32	△32
た な 卸 資 産	286	272	その他の包括利益累計額	60	41
合 計	13,959	13,859	純 資 産 合 計	3,310	3,395
			合 計	13,959	13,859

## 連結株主資本等変動計算書の要旨

(単位: 億円)

	株 主 資 本					その他の 包括利益累計額	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当 期 首 残 高 (平成24年4月 1日現在)	1,176	339	1,870	△32	3,353	41	3,395
当 期 変 動 額 合 計 (平成24年4月 1日から 平成25年3月31日まで)	—	—	△103	△0	△103	18	△84
当 期 末 残 高 (平成25年3月31日現在)	1,176	339	1,766	△32	3,250	60	3,310

## 連結損益計算書の要旨

(単位:億円)

費用の部		収益の部			
科目	当期 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	前期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	科目		
営業費用	4,807	4,834	営業収益	4,924	4,951
電気事業営業費用	4,682	4,720	電気事業営業収益	4,771	4,810
その他事業営業費用	125	114	その他事業営業収益	153	141
営業利益	(117)	(116)	営業外収益	31	35
営業外費用	131	141	当期経常収益合計	4,956	4,986
当期経常費用合計	4,939	4,975	特別利益	—	60
当期経常利益	17	10			
渴水準備金引当又は取崩し	△7	36			
税金等調整前当期純利益	24	33			
法人税等	23	86			
当期純損益	0	△52			
(参考) 包括利益	19	△46			

## 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:億円)

科目	当期 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	前期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	865	680
税金等調整前当期純利益	24	33
減価償却費	749	819
投資活動によるキャッシュ・フロー	△617	△588
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11	95
社債・借入金等の純増減額	92	200
自己株式の取得・売却	△0	△0
配当金の支払額	△104	△104
現金及び現金同等物の増加額	235	187
現金及び現金同等物の期首残高	927	739
現金及び現金同等物の期末残高	1,163	927

## 連結子会社(11社)

- 日本海発電(株)
- 北陸発電工事(株)
- 北電テクノサービス(株)
- 日本海コンクリート工業(株)
- 北陸通信ネットワーク(株)
- 北電産業(株)
- 北電情報システムサービス(株)
- (株)北陸電力リビングサービス
- 北電パートナーサービス(株)
- 日本海環境サービス(株)
- 北電技術コンサルタント(株)

(平成25年3月31日現在)

## 持分法適用関連会社(2社)

- 北陸電気工事(株)
- (株)ケーブルテレビ富山

(平成25年3月31日現在)

# 個別財務諸表

## 貸借対照表の要旨

(単位: 億円)

資産の部		負債及び純資産の部			
科目	当期末 (平成25年3月31日現在)	前期末 (平成24年3月31日現在)	科目		
固定資産	11,620	11,744	固定負債	8,522	8,241
電気事業固定資産	8,871	9,071	社債	4,386	4,286
水力発電設備	1,052	1,074	長期借入金	2,845	2,666
汽力発電設備	1,118	1,158	流动負債	1,951	2,036
原子力発電設備	2,170	2,268	1年以内に期限到来の固定負債	864	882
送電設備	1,734	1,773	短期借入金	150	150
変電設備	896	899	引当金	98	106
配電設備	1,549	1,557	負債合計	10,573	10,384
固定資産仮勘定	347	309	株主資本	3,028	3,156
核燃料	969	951	資本金	1,176	1,176
投資その他の資産	1,372	1,346	資本剰余金	339	339
流动資産	2,041	1,836	資本準備金	339	339
現金及び預金	1,137	903	利益剰余金	1,544	1,672
売掛金	357	345	利益準備金	283	283
貯蔵品	276	263	自己株式	△32	△32
合計	13,661	13,581	評価・換算差額等	59	41
			純資産合計	3,088	3,197
			合計	13,661	13,581

## 株主資本等変動計算書の要旨

(単位: 億円)

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高 (平成24年4月1日現在)	1,176	339	1,672	△32	3,156	41	3,197
当期変動額合計 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	—	—	△127	△0	△127	18	△108
当期末残高 (平成25年3月31日現在)	1,176	339	1,544	△32	3,028	59	3,088

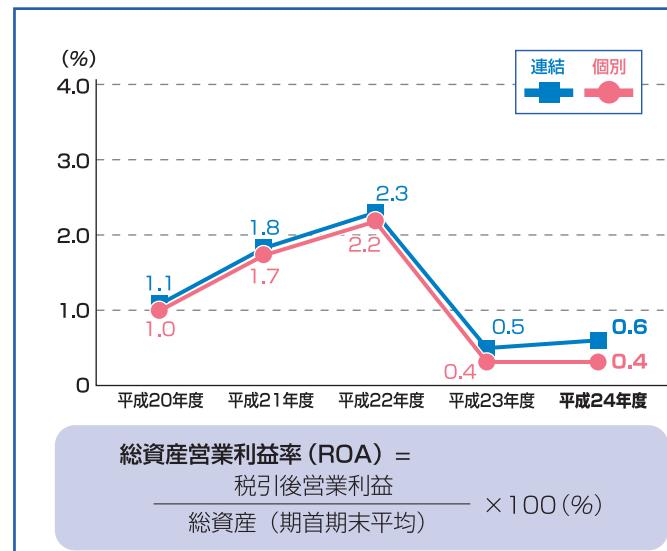
## 損益計算書の要旨

(単位:億円)

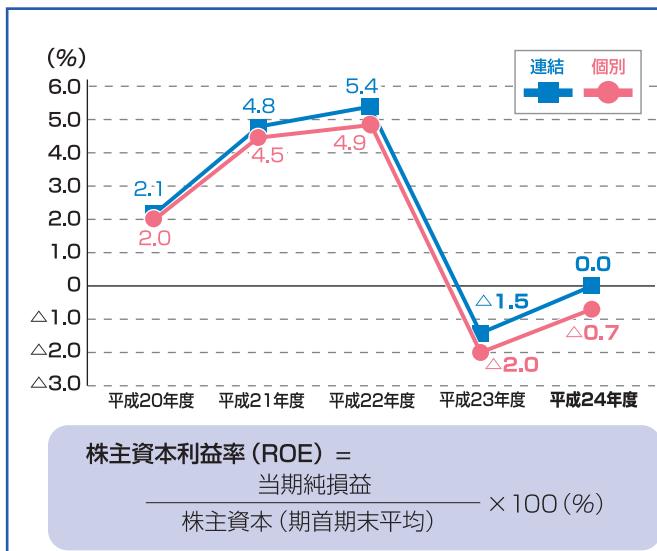
費用の部		収益の部			
科 目	当 期 (平成24年4月 1日から) (平成25年3月31日まで)	前 期 (平成23年4月 1日から) (平成24年3月31日まで)	科 目		
営 業 費 用	4,714	4,753	営 業 収 益	4,795	4,833
電 気 事 業 営 業 費 用	4,703	4,742	電 気 事 業 営 業 収 益	4,777	4,816
附 帯 事 業 営 業 費 用	11	11	附 帯 事 業 営 業 収 益	17	17
営 業 利 益	(80)	(79)	営 業 外 収 益	27	35
営 業 外 費 用	129	138	財 务 収 益	15	17
財 务 費 用	122	125	事 業 外 収 益	11	18
事 業 外 費 用	6	13	当 期 経 常 収 益 合 計	4,822	4,869
当 期 経 常 費 用 合 計	4,844	4,892	特 別 利 益	—	60
当 期 経 常 損 失 (△)	△21	△22			
渴水準備金引当又は取崩し	△7	36			
税 引 前 当 期 純 損 益	△14	0			
法 人 税 等	8	67			
当 期 純 損 失 (△)	△23	△66			

# 財務・株式データ

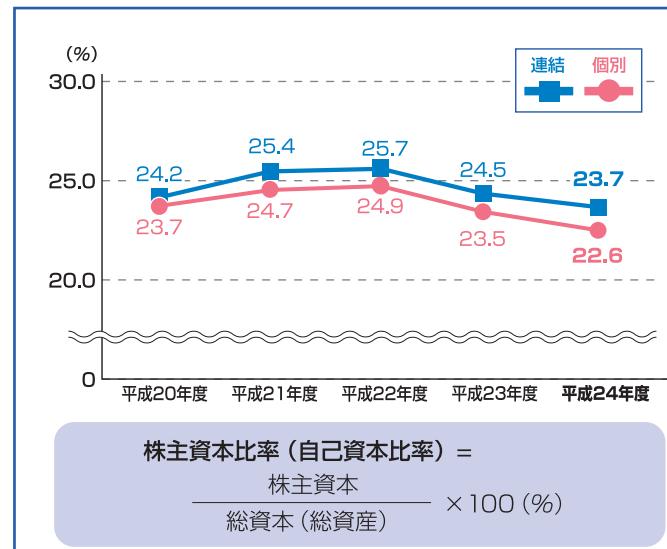
## ■総資産営業利益率(ROA)



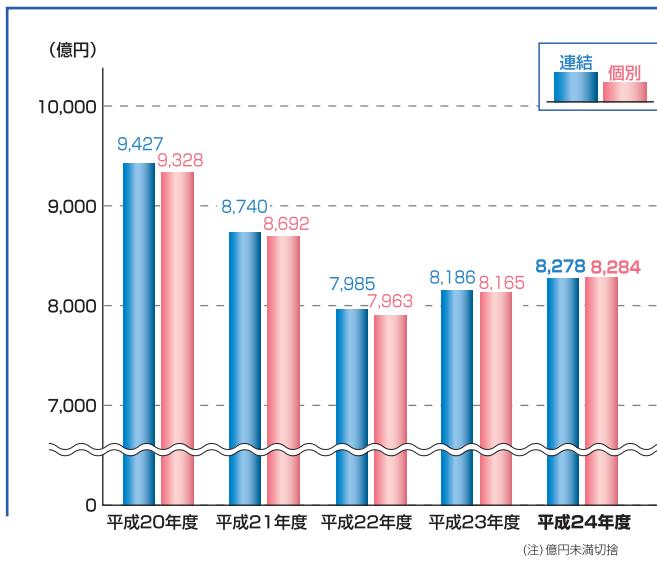
## ■株主資本利益率(ROE)



## ■株主資本比率(自己資本比率)



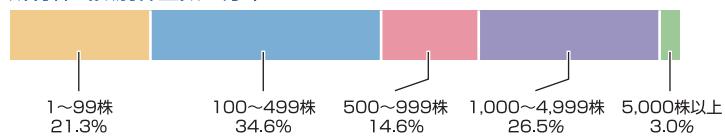
## ■有利子負債残高



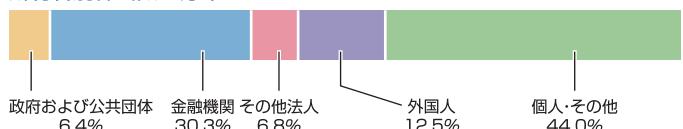
## ■株式の状況 (平成25年3月31日現在)

発行済株式総数 ..... 2億1,033万3,694株  
 株主数 ..... 9万7,189名

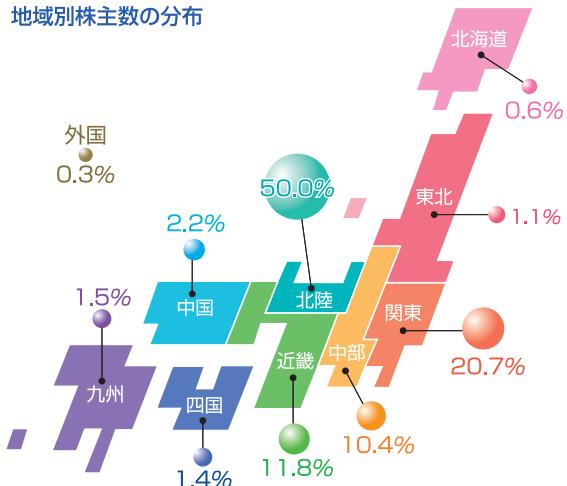
所有株式数別株主数の分布



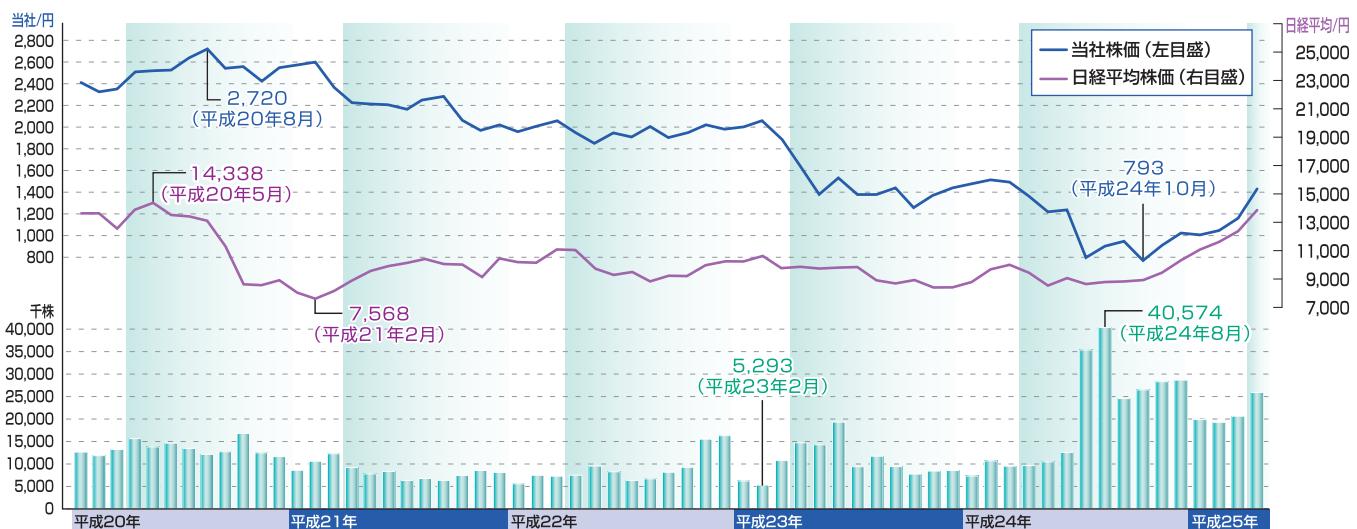
所有者別株式数の分布



地域別株主数の分布



## ■当社株価(月末終値)および出来高の推移





# 若い息吹と熱い血潮,神への光明が, 荒波となって町を流れていく

石川県七尾市石崎町で盛夏に行われる,  
キリコ祭り※のひとつ「石崎奉燈祭」。  
町の青年に一任されるこのお祭りの,  
若々しい息吹をお届けします。

※キリコとは…高さ5メートル程度から大きいものでは  
10メートル以上もある巨大な灯籠



奉燈上の太鼓も花形



## 大漁を祈る大切な神事として伝承

明治22年,町が度重なる大火に遭い,それを鎮めるために奥能登から奉燈(キリコ)を移入して始まったのが,石崎奉燈祭です。以来漁師町での大漁を祈願する神事として,男たちが血湧き肉躍らせる祭りとして伝わっています。

←屋はその巨体で,夜は光で魅せる奉燈

受け継がれるもの

## 若さみなぎる渾身の一筆 ひとふで 書と絵

石崎の奉燈には書と絵が表裏に描かれます。書は地区ごとに伝わる文字が墨か「浮き字」と呼ばれる金で書かれ,その多くが町出身の書家の手によるもの。また,絵の題材や図案等は,各地区の青年団のトップである「支部長」に委ねられています。

2012年度の西二区支部長を務めた石倉哲也さんが選んだ絵の題材は「琴高仙人」で,自ら描きました。大変評判を呼び,後輩の支部長候補者からは「自分の代でも使いたい」との申し出も。また,3年前に手がけた豊臣秀吉の武者絵は,母校の石崎小学校に寄贈しました。「小学生にも身近なポスターカラーで着色しています。図画の時間にこの絵を見て,小さい頃から石崎奉燈祭を身近に感じてもらえた」と,祭り継承の一翼を担っています。

→自らの絵を背にした石倉さんの,  
祭りでの雄姿(前列左から2番目)。  
3本線のたすきが支部長の証しだ



## 若い力を全開にして、奉燈を運ぶ

石崎奉燈祭の特徴は、20～30代の青年団の男性を中心であること。男子は小学校高学年になると女装して奉燈に上がり、笛や鉦を演奏。青年団の姿を間近で見ることで、憧れを募らせていきます。当日の女性陣は各家庭で料理や飲み物を用意し、来客をもてなすのがならわしです。

現在は石崎町を7地区に分け、毎年8月の第1土曜日に開催。高さ約15メートル、重さ約2トンの奉燈を、約100名もの若き男たちが担ぎ、「さっかさい、さっかさいさいさい、いやさかさー」と



堂前で乱舞する時間には、その勇姿をひと目見ようと多くの観光客が詰めかける

離しながら町を練り歩くさまは壮観。夜には奉燈に灯火が歓じられ、幻想的な雰囲気を醸し出します。クライマックスは町の中心にある交差点・堂前での乱舞で、ほとばしる男たちの熱気と汗が約5万人の観光客を圧倒します。

## きょうじ 町を受け継ぐ地元民の矜恃

各地区がライバル心をみなぎらせながらも、町の人々をつなぎ、団結力を強くするためになくてはならない祭り。懐の深い年輩たちが若い衆に権限を与えることで若者が地元に残り、それぞれが家庭を築いて次世代へ…。この神への祈りと祭りへの誇りが続く限り、町は続いていくのでしょうか。



1年間格納庫で眠る奉燈を、祭り前夜祭の前日に組み立てる

### Interview 祭りを語る

## 絶やしてはいけない 石崎の心意気



支部長は、町への貢献度なども加味して選ばれます。私も27、8年前に経験しましたが、支部長にとっての1年は祭りの翌日から始まり翌年の祭りで終了する、祭りのため、町のために尽力する1年。そうやって、次の代へとたすきをつないできました。

「若い人ならでは」の思い切ったことができるのか、この祭りのいいところ。逆に祭りがないと、ここまで若い人が地元を愛するとは思えません。自分がそうであったように、次世代の子どもたちが祭りに触れて楽しみ、青年団をかっこいいと思ってほしいですね。そのためには「自分たちが祭りを絶やさず、いい方向に行くように守っていかなければ」と、固く心に刻んでいます。



石崎奉燈祭奉賛会事務局長  
石崎公民館館長 野崎 長和さん

開催地 石川県七尾市石崎町

開催日 8月第1土曜日  
(平成25年は8月3日)

お問い合わせ  
七尾市石崎公民館内  
石崎奉燈祭奉賛会  
TEL:0767-62-2835  
FAX:0767-62-2965  
e-mail:k-ishizaki@city.nanao.ishikawa.jp



## 単元未満株式(1~99株)を 整理したい株主さまへ

単元未満株式(1~99株)は、証券市場での売買が  
できませんが、**単元未満株式の買取請求・買増請求制度**  
をご利用いただくことができます。当社では、これらの  
請求にかかる手数料を無料としておりますので、  
単元未満株式の整理に是非ご活用ください。

※ 証券会社の口座に単元未満株式をご所有の株主さまは、証券会社での手数料が  
かかる場合があります。

### ■単元未満株式の買取請求制度

ご所有の単元未満株式を処分したい株主さまに対して、  
当社が単元未満株式を買い取らせていただく制度。

### ■単元未満株式の買増請求制度

ご所有の単元未満株式を1単元(100株)にしたい  
株主さまに対して、当社から単元未満株式をお買い増し  
いただく制度。

## 特別口座に当社株式を ご所有の株主さまへ

特別口座は、証券会社の口座とは異なり、ご所有の株式  
を、ご家族へ譲渡(名義書換)したり、証券市場で売却した  
りすることができません。譲渡や売却をご希望の場合は、  
あらかじめ証券会社に株主さまご本人名義の口  
座を開設し、特別口座から証券会社の口座へ株式  
を振替える必要があります。株式の振替が完了した後に、  
譲渡や売却のお手続きが可能となります。

※ 証券会社での口座開設、譲渡および売却のお手続きにつきましては、  
証券会社へお問い合わせください。

### ■特別口座とは…

平成21年1月実施の「株券の電子化」に伴い、それまでに  
証券会社の口座にお預けになっていたい株主さまの  
当社株式を管理するために、当社が三井住友信託銀行に  
開設した口座です。

### お手続きのお問い合わせ先

〈証券会社に口座を開設されている株主さま〉

口座を開設された証券会社にお申出ください

〈特別口座をお持ちの株主さま(証券会社に口座を開設されていない株主さま)〉

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部にお申出ください

 0120-782-031

## 株主さま限定 当社施設見学会のご案内

### 見学先

- 志賀原子力発電所、アリス館志賀、志賀太陽光・福浦風力発電所等(石川県羽咋郡志賀町)
- 手取川第三ダム(石川県白山市)、三国太陽光発電所(福井県坂井市)等
- 有峰ダム、富山太陽光発電所等(富山県富山市)

※見学の際には、バスの乗り降りや階段の昇り降りがありますのでご了承ください。

### 対象 株主さま

※ご家族の方は、株主さまとの同伴に限り1名参加できます。

### 参加費 無 料

※ご自宅から集合・解散場所までの往復交通費は、株主さまのご負担とさせていただきます。

### 見学コース

- 志賀原子力発電所、アリス館志賀、志賀太陽光・福浦風力発電所等  
・志賀原子力発電所内見学は主にバスで敷地内を周回し、建物への立入はできません。

・志賀原子力発電所内見学の際には、見学者ご本人の顔写真付公的身分証明書(運転免許証・パスポート)などが必要です。ご理解のうえ、お申し込みください。

コース番号	実施日	集合・解散場所	予定時間	募集人数
①	9月 5日(木)	金沢駅	8時30分～16時30分	40名
②	9月 10日(火)	福井駅	7時50分～18時00分	40名
③	9月 12日(木)	富山駅	8時20分～17時30分	40名

- 手取川第三ダム、三国太陽光発電所等

コース番号	実施日	集合・解散場所	予定時間	募集人数
④	9月 18日(水)	金沢駅	8時30分～15時40分	25名
⑤	9月20日(金)	福井駅	8時20分～16時20分	25名

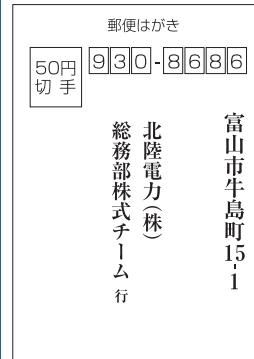
- 有峰ダム、富山太陽光発電所等

コース番号	実施日	集合・解散場所	予定時間	募集人数
⑥	9月 3日(火)	富山駅	9時00分～15時50分	25名

※いずれのコースも上記の集合・解散場所以外での集合・解散はできませんのでご了承ください。

行程 集合場所 → 施設見学・昼食 → 解散場所

下記のとおり、必要事項をご記入のうえ、郵便はがきでお申し込みください。



・希望コース番号  
(1コースのみ選択)

・株主さまのお名前(ふりがな)、  
株主番号、  
郵便番号、ご住所、電話番号、  
生年月日(和暦)、性別

[同伴者ご希望の場合]  
同伴者の方のお名前(ふりがな)、  
郵便番号、ご住所、電話番号、  
生年月日(和暦)、性別

※この募集により当社が取得する個人情報は、本施設見学会の運営に利用し、その他の目的には利用いたしません。

※株主番号(9桁)は、本誌と同封の「配当金計算書」等に記載しています。

●締切 7月17日(水)〈当日消印有効〉

●抽選 お申し込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。なお、抽選の結果は8月16日(金)までにご案内いたします。

北陸電力(株) 総務部株式チーム

TEL (076) 441-2511 〈代表〉

※ 8:40～17:20 (土・日・祝日を除く)

# 株主information

## 会社概要

(平成25年3月31日現在)

■設立年月日	昭和26年5月1日
■資本金	1,176億4,154万9,080円
■発行可能株式総数	4億株
■発行済株式総数	2億1,033万3,694株
■販売区域	富山県、石川県、福井県(一部を除く)、岐阜県の一部
■従業員数	4,596名(出向者等を除く)
■供給設備	
○発電所	
水力	129か所 出力／190.6万kW
火力	6か所 出力／440.0万kW
原子力	1か所 出力／174.6万kW*
新エネルギー	7か所 出力／0.9万kW
計	143か所 出力／806.1万kW
※：志賀2号機において、整流板を設置して運転の場合	
○送電線	電線路こう長 3,314km
○変電所	200か所 出力／2,938万kVA
○配電線	電線延長 12万1,516km

■主要事業所	
本店	富山市牛島町15番1号
地域共生本部	金沢市下本多町六番丁11番地
原子力本部	石川県羽咋郡志賀町高浜町二13番地21
富山支店	富山市牛島町13番15号
高岡支社	高岡市広小路7番15号
魚津支社	魚津市新金屋一丁目12番12号
石川支店	金沢市下本多町六番丁11番地
七尾支社	七尾市三島町61の7
小松支社	小松市栄町25の1
福井支店	福井市日之出一丁目4番1号
丹南支社	越前市新町10字東野末1の6
東京支社	東京都港区虎ノ門二丁目8番1号 虎の門電気ビルディング6階

## 株主メモ

●事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
●定時株主総会	6月
●配当金の 受領株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
●単元株式数	100株
●証券コード	9505
●公告方法	電子公告により、当社のホームページに 掲載して行います。 ( <a href="http://www.rikuden.co.jp/">http://www.rikuden.co.jp/</a> )

●株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
〔郵便物ご送付先〕 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
〔お問い合わせ先〕 ☎ 0120-782-031  
〔ホームページ〕 <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

**株式に関するお手続きおよびお問い合わせ先について**  
<証券会社に口座を開設されている株主さま>  
口座を開設された証券会社にお申出ください  
<特別口座をお持ちの株主さま(証券会社に口座を開設されていない株主さま)>  
三井住友信託銀行 証券代行部にお申出ください



〒930-8686 富山市牛島町15番1号  
電話 076-441-2511(代表)  
<http://www.rikuden.co.jp/>  
発行／総務部株式チーム 平成25年6月



## 役員

(平成25年6月26日現在)

取締役会長	永原 功	常勤監査役	高桑 幸一
取締役社長	久和 進	常勤監査役	淤見 隆昌
取締役副社長	堀 祐一	監査役	犬島伸一郎
取締役副社長	三鍋 光昭	監査役	深山 彰
取締役副社長	金井 豊	監査役	川田 達男
常務取締役	近谷 雅人		
常務取締役	赤丸 準一		
常務取締役	矢野 茂		
常務取締役	堀田 正之		
常務取締役	西野 彰純		
常務取締役	長谷川 俊行		